

## 小俣発電所および滝波川第一発電所の出力変更について

平成27年4月24日  
北陸電力株式会社

おまた

当社は、小俣発電所（富山県富山市東小俣）の性能確認試験の結果、および、滝波川第一発電所（福井県勝山市北谷町）の設備改修に伴う性能確認試験の結果、発電所出力を合計1,000キロワット増加させたことから、電気事業法第9条第2項の規定<sup>※1</sup>に基づき、本日（4月24日）、「電気工作物変更届出書」を経済産業省中部経済産業局へ、各々、届出ましたので、お知らせします。

### [発電所出力の概要]

- ・小俣発電所 出力 33,600キロワット（900キロワット増）
- ・滝波川第一発電所 出力 12,600キロワット（100キロワット増）

当社は、水力発電電力量の拡大に取り組んでおり、2020年度までに発電電力量1億キロワットアワー／年程度の拡大（2007年度対比）を目標に進めております。（平成26年3月27日お知らせ済）

おまた

このたび、常願寺川水系小口川の小俣発電所の性能確認試験結果および九頭竜川水系滝波川の滝波川第一発電所の水車設備改修に伴う性能確認試験結果により、発電所出力を合計1,000キロワット増加できることを確認したことから、それぞれ出力を変更いたしました。

この2箇所の発電所出力の増加により、発電電力量は年間約310万キロワットアワー<sup>※2</sup>（一般家庭約800世帯の年間使用電力量に相当）増加し、年間約1,850トンのCO<sub>2</sub>排出量削減効果<sup>※3</sup>が期待できます。

当社は、今後とも、再生可能エネルギーの導入拡大などにより、低炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいります。

以上

別紙：「小俣発電所・滝波川第一発電所の概要」

- ※1 電気事業法第9条第2項の規定  
発電所出力を変更する場合、出力変更後（事後）に経済産業省へ届出なければならない。
- ※2 小俣発電所 : 年間290万キロワットアワー  
滝波川第一発電所 : 年間20万キロワットアワー
- ※3 当社2013年度調整後CO<sub>2</sub>排出原単位を使用して試算

## 小俣発電所，滝波川第一発電所の概要



小俣発電所 本館



滝波川第一発電所 本館



小俣発電所 水車



滝波川第一発電所 水車ランナ

	小俣発電所 諸元	滝波川第一発電所 諸元
運転開始年月	昭和35年11月	昭和40年2月
水車型式	立軸単輪単流渦巻フランシス水車	立軸単輪四射ペルトン水車
発電機型式	立軸三相交流同期発電機	立軸三相交流同期発電機
主機台数	1台	1台
発電所出力	33,600kW(900kW増)	12,600kW(100kW増)
増分発電電力量	約290万kWh/年	約20万kWh/年

注 滝波川第一発電所は、平成22年に福井県より譲渡